

間ノ岳遭難(2022年10月)

32歳男性。単独、間ノ岳付近を縦走中、道に迷い救助要請。警察からその場で待機するように指示があり、ヘリで救助された。

ルートは推測



解説

1日午前11時前、静岡市葵区田代の南アルプス間ノ岳(あいのだけ)付近を登山中の男性が、「登山道から外れ道に迷っている」と警察に救助を要請しました。警察によりますと男性は30代とみられ、1人で登山していたということです。男性は農鳥小屋に向かっている途中だったということで、警察は動かないように指示し、県警のヘリコプターが無事救助したということです。(HP参照)

救助された場所から推測すると、間ノ岳頂上が近いので高いところに行けば頂上(正ルート)に戻ることができる。冷静になれば難しいことではない。しかし、道迷いの心理はそれを許さない。加えて単独行動のプレッシャーもあったのだろう。午前11時の救助要請は、時間的にも余裕がある。また、ヘリで救助されているので、視界もよかったと思われる。

冷静さを失い、「根拠のない行動」をして滑落し、動けなく事例は多い。なので、救助要請することは妥当と言える。しかし、安易な救助要請がスマホの普及とともに増加傾向にあるのも事実だ。スマホのアプリを利用してよいが、基本的な読図技術を身につけて安全登山を心がけてほしい。